

## 平成30年度第5回 歴楽講座



# 数字と地名

主催：手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会

一宮、二宮、三宮・・・そんな数字がついた地名は、全国にあります。単純な連続番号が付いている典型が、京都の通りの名でしょう。これは東西に走る通りの名が、北から、一条、二条・・・と付けられています。

また近代の千葉県の開拓に関する地名では、最初の開拓地が「初富（はつとみ）」、続いて「二和（ふたわ）」「三咲（みさき）」「豊四季（とよしき）」「五香（ごこう）」「六実（むつみ）」「七栄（ななえ）」「八街（やちまた）」「九美上（くみあげ）」「十倉（とくら）」「十余一（とよいち）」「十余二（とよふた）」、そして最後の地名は「十余三（とよみ）」となります。連続する数字や不連続の数字、それが地名となっている例をいくつかご紹介しようと思います。



京都三哲のバス停（左）、船橋の二宮神社（中）、豊四季駅（右）

 **日時・場所** 2018年9月23日（日）12時半開場、13時～15時  
パレット柏 多目的スペースB  
(柏市柏1-7-1-301号 Day One タワー 柏駅南口徒歩3分)

 **講師** 当会会長 森伸之 (軍事史学会会員)

 **参加費** 会員：100円、一般：300円 (資料代込み)

 **その他** 申込不要。会場に隣接して駐車場はありますが、有料です。  
当会会誌「水辺の城」第2号 頒布中。

 **問い合わせ** メール：[info@matsugasakijo.net](mailto:info@matsugasakijo.net) または Tel. 090-3579-5185 (森)

(平日のお問合せは午後6時以降にお願いいたします)

(C) 手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会